

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域で暮らす会	代表者	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひとりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継続出来るよう支援している。事業所が小さく、とても家庭的な雰囲気の中で、ご利用者様ひとりひとりに楽しんで頂けるよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム 吉方温泉いくのさん 家	管理者	小林 亮		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	月2回のミーティングを目標に、職員間の情報共有の機会を増やす。	チーム分けでのミーティングの仕組みはうまく機能せず、まだまだ回数が少ない。	事業所の中での取り組みの様子なので、出来ているかどうか、変化も分かりにくい。	大きめの紙で「～したい」リストを作り、掲示。実現可能なものは個別支援など、計画していく。取り組みの様子は運営推進会議の時に、参加メンバーに見て頂けるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	棚の整理がしやすいよう。物を置く場所のシールを貼る。	玄関を入れてすぐの棚に整理用のシールを貼った。しまう場所を意識付けできた事で、以前よりも片付くようになった。	整頓できていないと言われていた棚はそんなに気にならなくなった。汚いとは思わない。	静養室の片付け。布団を必ず上げるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	業務分担に「地域担当」を作る。地域行事などの外出計画を担当する。	「地域担当」を作り、外出計画をした。地域行事への参加がしやすくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事で見かけることが増えた。 ・地域の人に知ってもらう、という部分で、回覧板にお便りを挟むのも良いのではないかと。 ・もしお便りを回覧するなら、「介護のお悩みなど、相談聞きます」のような一文を入れてみてはどうか。 	回覧板にお便りを挟んでもらう。年3回。また、お便りに介護に関するお悩み相談など、記入してみる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	「わたしのくらしまとめシート」を各個人の記録ファイルに挟み、職員の目につくようにする。また、気付いたことがあれば赤ペンで追記していく。	ケアプランが見えやすくなり、目標など職員が把握しやすくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区の住民で、人に言えず認知症の方を抱えている方はきっといると思う。 ・早いうちから関わる事はとても大切です。 	職員対象に、地域資源の勉強会の実施。地域での暮らしについて、職員も知見を深める。

E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所として、消火器訓練の実施。準備や地区への案内、振り返りを運営推進会議で行う。	消火器訓練は実施したが、運営推進会議での準備振り返りは参加メンバーの都合もあり難しかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の心配な方の事例検討が行われていますか」の項目はいいえが多い ・そのような場があれば、包括へもスムーズに繋がりやすい 	事業所職員も地域の方々の意見を知るために、運営推進会議へ介護職員が参加できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	9月、地区の避難訓練に参加する。	少人数ではあったが、参加できた。近所の方が一緒に避難して下さった。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所は近くに2つあるが、文化センターで良いはず。 ・この地区はハザードマップ上、かなり浸かる地区です。 	想定浸水深をテープで貼り、防災の意識を高める。